



# 学校だより

令和6年度 10月号  
令和6年 10月1日  
さいたま市立大谷口中学校

[学校教育目標] かしこく 美しく たくましく

## 励まし合い、認め合い



校長 小林 正樹

今年は9月になっても残暑が厳しかったです。近ごろは朝夕の風に秋の気配を感じられる日が増えました。地域・保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜わり、深く感謝申し上げます。9月25日からの陸上競技を皮切りに28日からさいたま市中学校新人体育大会が始まりました。これからも、生徒のすばらしい活躍と成長を期待してください。

さて、9月19日(木)、さいたま市文化センター大ホールを会場に、創立50年を記念した合唱コンクールが開催されました。平日開催でしたが、多くの保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。また、PTAからステージの看板を寄贈していただきました。感謝申し上げます。今年の「歌声が響く週間」では、どのクラスも合唱実行委員やパートリーダーが中心となって取り組んだ練習や学年リハーサルなど、頑張る姿を見取ることができました。歌声は日が経つにつれ、校長室まで聞こえるすばらしい歌声となり、私も自然に音楽室まで出向き、生徒たちを褒めたり、励ましたりさせてもらいました。その時の生徒の目の輝きをみて、創立50年を記念する感銘深い合唱コンクールになると確信しました。当日、開会式での校歌の全体合唱は、3年生を中心に美しく大きな声量で力強いものでした。続いて各学年の発表を聴き、1年生も2年生も3年生も確実に成長していると感じました。特に3年生はどのクラスもレベルが高く、練習の成果が存分に発揮され完成度の高い歌声となりました。さすが3年生でした。さらに、創立50周年記念行事の8組と実行委員との合唱はすばらしい歌声でした。全校合唱(曲名:ほらね)は、「ほらね 僕らは一人じゃない」「きつとね 誰も一人じゃない」「それでも悲しい日があったら」「涙が止まらない日があったら」と歌う生徒たちの声やしっかりとした態度に、私は心打たれ涙がこぼれました。さらに生徒会が制作してくれた「50年の歩み」のスライドで大谷口中学校の歴史を振り返り、学校が存続するには、生徒を中心に教職員と一緒に教育活動を行うことの大切さを強く感じました。また、地域の方々が尽力し子どもを安心して育てられる街づくりをしていることも改めて理解ができました。3年生は、本番にこれだけの力を発揮できました。進路の選択にも必ずつながると頼もしく思います。互いに声をかけ「励まし合い、認め合ってきた」経験を忘れてほしくありません。隣で悩んでいる友達、試験に不安になっている仲間に「一緒に頑張ろう」と声をかけられる、そんな大谷口中生であってほしいと思います。皆さんが自分も他の人も大切にできる美しくたくましい人になってくれることを切に願っています。

それから、すばらしかったのは実行委員会の生徒たちの準備や進行などでした。裏方の活動があったからこそ成功した合唱コンクールとも言えると思います。実行委員会の皆さんありがとうございました。2学期は、「うたはあなたの大切なともだち いつもそばにいる大切なともだちだから」を心に刻み、自信をもって学校生活や学習を頑張りましょう。

最後に、保護者・地域の皆様には、引く続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。